

NEWS LETTER IPPS JAPAN

# IPPS

Sharing Plants Production Knowledge Globally  
Japan Region Since 1995

## IPPS-J ニュースレター

国際植物増殖者会議日本支部

2022. 7

No.69

<http://www.ippsjapan.org>

お問合せ・事務局

〒 441-8123

IPPS日本支部事務・会計理事 水谷朱美

愛知県豊橋市若松町字北ヶ谷 244

E-mail: [a.nizutani@verde-agribio.co.jp](mailto:a.nizutani@verde-agribio.co.jp)

TEL0532-25-8712 FAX0532-25-8486

### 活動を再開します

### IPPS-J 会長 速水正弘



皆様、いかがお過ごしですか。

新型コロナウイルスのオミクロン株による爆発的な新規感染も、一部の地域を除いて、ようやく収まってきたように思います。

IPPS-Jでは、2020年に予定されていた岐阜での国際大会は中止、2021年の宮崎大会も中止せざるを得ない中、さらには理事会も開催することが困難な状態で、会としての十分な活動が行えませんでした。

このため、会の存続も危ぶまれる声が聞かれましたが、落合先生をはじめとする理事の皆さんの奮闘により、今年、3年ぶりに、岐阜で国内大会ではありますが、大会を開催する運びとなりました。また、2023年には滋賀大会が、2024年には、中止となった宮崎で大会を開催することが決まり、余程のことが無い限り、会の活動が再開されますので、皆様の御協力をお願いします。特に大会に関しては、年々参加される方が減ってきておりますが、年に一度、顔を合わせる重要な機会ですし、様々な情報

交換を行える場でもあります。加えて岐阜市という集まりやすい場所でもありますので、是非、多数の皆様のご参加を、よろしくをお願いします。

また、本来は岐阜の国際大会で表彰が行われる予定でしたピーター氏の表彰も、併せて行う予定ですので、重ねて出席の程、よろしくをお願いします。

「近年情報は、インターネットを通じれば事細かく入ってくる時代となり、あえて大会に参加する必要がないのでは。」という声も聞かれますが、直接会って話をすると、インターネットでは得られないものがあります。

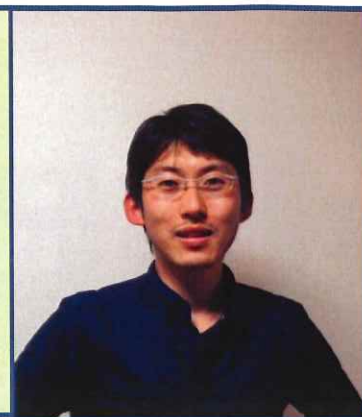
特にIPPSは、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ等世界につながっており、会員に生産者や種苗関係の人も多いことから、古い会員からそれらの情報を聞くことも可能ですので、特に若い人達には、是非大会に足を運んで、学びながら楽しんでいただけることをお勧めします。

速水正弘

# IPPS-J 第 27 回岐阜大会への

お誘い 岐阜大学応用生物科学部

## 落合正樹



IPPS-J 第 27 回岐阜大会を、令和 4 年 10 月 22 日（土）・23 日（日）に岐阜県にて開催します。

1 日目の 10 月 22 日（土）は、岐阜駅からほど近い岐阜市文化センターにて、研究発表・基調講演・総会を行い、夜は懇親会を開催する予定です。

基調講演では、名古屋大学の野田口先生をお招きして、接ぎ木に関する研究開発についてご講演いただきます。

接ぎ木は通常、近縁の植物同士でしか成立しませんが、野田口先生はタバコ属植物では科が異なる植物とも接ぎ木接着面が接合し、養水分を受け渡す能力があることを発見し、そのメカニズムの解明を目指した基礎研究のみならず、接ぎ木苗生産への応用を目指した実用化研究も精力的に行われています。

2 日目の 10 月 23 日（日）は、岐阜市近郊の生産者圃場の見学ツアーを計画しています。

新型コロナウイルス感染症による影響はまだまだ先が見えない状況ではありますが、3 年ぶりに多くの会員の皆様が会し、気兼ねなく談笑し飲み交わせる日が来ることを心待ちにしています。

参加および発表の申し込みはしばらく先となりますが、皆様のご参加をお待ちしています。

非会員や学生の皆様のご参加も大歓迎です。

研究発表につきましては、大学や試験場等での研究内容の報告に限らず、企業等での実践的な取り組みや、トピックの紹介も大歓迎です。ご応募をお待ちしています。

発表の申し込みは 8 月 31 日〆切です。事前参加申し込みは 9 月 30 日〆切です。なお、基調講演、研究発表、総会は当日参加も可能です。

以下に日程や会場の情報を抜粋します。申し込み方法等の詳細は大会案内をご覧ください。

### 1. 日程

【1 日目 基調講演、研究発表、総会、懇親会】

2022 年 10 月 22 日（土） 岐阜市文化センター 展示室

12:30～13:00 受付

13:00～ 基調講演

名古屋大学 生物機能開発  
利用研究センター

准教授 野田口 理孝 先生

『植物増殖に向けた接木研究』

14:10～ 研究発表

16:35～ 総会

18:00～ 懇親会

### 【2日目 産地見学会】

2022年10月23日（日）

8:30 集合（JR 岐阜駅前 団体バス  
乗車場）

岐阜市近郊の生産者等の見学、昼  
食込み

15:30 解散（JR 岐阜駅前 団体バス  
乗車場）

## 2. 会場情報

### 【1日目 基調講演、研究発表、総会】

岐阜市文化センター 展示室

- ・岐阜県岐阜市金町5丁目7-2
- ・岐阜駅より徒歩約10分、路線バスあり（岐阜バス、最寄りバス停「文化センター金神社前」）

### 【1日目 懇親会】

岐阜市文化センター近辺の飲食店を  
予定しております。新型コロナウイルス  
感染症の社会情勢や国・自治体の指針に  
沿って実施の可否を決定します。

## 3. 宿泊

宿泊の斡旋はいたしません。各自で  
予約・お支払いをお願いします。

## 4. 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・新型コロナウイルスの流行によっ  
ては、国や自治体の指針、会場施設の方  
針に従って開催の中止やオンライン  
での実施を検討する可能性があります。

## 5. 大会に関する問い合わせ先

IPPS-J 第27回岐阜大会実行委員会  
〒501-1193

岐阜県岐阜市柳戸1-1  
岐阜大学応用生物科学部

園芸学研究室内

落合 正樹

Tel & Fax : 058-293-3418

E-mail : mochiai@gifu-u.ac.jp

# 第27回岐阜大会

2022年10月22日（土）研究発表、基調講演

総会、懇親会（予定）

10月23日（日）生産圃場等視察見学

# ピーター氏の the International Award of Honor 2022 受賞について

IPPS-J 事務局

株式会社ベルディ 水谷朱美



皆様、ご報告です。我らのピーター氏が2022年度の《IPPS国際栄誉賞》を受賞されました。この賞は、各支部からその支部において多大な功績がある会員を推薦状と共に1名推薦し、国際理事会に於いて他の候補者と選考され、投票が行われ決定されます。

今年はその受賞者に晴れてピーター氏の受賞が決まりました。ピーター氏は、本当に長い間（第2回宮崎大会には参加されていました）日本支部の理事会・大会に参加され、ニュージーランド支部との交換国際支部間交流の取り組みも含

め日本支部にとって多大な功績を収めてこられました。

これまでの誠意と協力への感謝がこのような形となってピーター氏を称えることが出来て日本支部の会員としても大変に感慨深いです。

年齢80を超え、近年は病気を発症されたことやコロナ禍もあり、来日が果たせなくなっていますが、今年5月にオーストラリア支部の年次大会に参加され、そこで賞状と記念品が授与（写真はそのものを送っていただきました）されたそうです。

移動には杖や車椅子が必須となっているようですが、看護師をしている娘さんに付き添ってもらって、何としても日本に再び来たいと強い意志を持っておられます。

10月の岐阜大会の折には、ピーター氏と再び顔を合わせ、改めてIPPS日本支部として、日本支部会員のピーター氏に国際栄誉賞をお渡ししたいと考えています。皆様には是非とも岐阜大会にご参加いただき、ピーター氏に大きな拍手を一緒に送っていただきたいと思います。どうかどうかご参加ください。

株式会社ベルディ 水谷朱美



# ジャボチカバ・ハウス

## フジモリ農園 藤森忠雄



67号のニュースレターに、私は退職後、畑を借りて野菜の栽培を（趣味として）始めた旨を少し報告しました。

今回は昨年の夏に100㎡程のビニール・ハウスを建て、「ジャボチカバ」、「フィンガーライム」、「マヌカの木」、「矮性のバナナ」等の植物の生産を始めましたので、そのことを少し報告いたします。

1年程の間、野菜生産をして、痛感したことに、野菜生産は雑草との戦いだという事です。この経験により、野菜の生産は半分程にして、ビニール・ハウスを建設して野菜生産以外に園芸植物や果樹それに養蜂植物の生産をすることにしました。今回はそれらの植物について少し報告いたします。

20年程前に(株)赤塚植物園のブラジル農場へ出掛けた際、農場内に、5メートル程の大きな木の幹に沢山の葡萄のような黒い実が沢山なっている光景を見ました。見たこと



# ジャボチカバ・ハウス

## 赤塚植物園分園

### フジモリ農園

がない異様な感じでしたので、現地の人に何の木か聞くと、ジャボチカバだよ。食べてごらんと言われ、食べてみると甘くて美味しい果樹でした。それ以後、日本ではこの植物に接することが全くなかったのですが、ある時、赤塚会長が知り合いからジャボチカバの木をいただきました。感動でした。

退社してから、赤塚会長にお願いして、このジャボチカバの樹を譲り受けました。現在、鉢植えで9鉢管理しています。1鉢だけはまだ実が成りませんが、8鉢は既に実が成っています。

写真のとおり、幹に直接白花が咲き、40日後には濃紫色または濃紺色の果実が成ります。ブドウの巨砲に似た味がする果物です。其の様子が異様で神秘的な木です。収穫して直ぐに食べないと味は美味しいが日持ちしません。ビタミンC、カリウム、ポリフェノールなどが多く含まれ、高血圧、脳卒中などに有効なタンニンも多いそうです。

糖度は16~18あり、甘酸っぱい味がします。ジャムやお酒に加工すると良いそうです。私はまだそこまで手を出していません。



いつか誰かにしてもらおう予定です。

増殖は実生と挿し木です。播種後1ヶ月で発芽します。挿し木は4~9月の生育期にします。花が付き、実が成るまでには5~6年程かかるようです早く実を望むなら接ぎ木をすることです。まだ日本ではあまり知られていない果樹の一つですから、何とか普及したいと考えています。

赤塚植物園の売店の担当者から勧められ、「フィンガーライム」の8号鉢を10鉢程入手しました。それほど大きな木ではないのに、まだ高価な果樹で、¥5,800.~¥6,800. もしました。まだ栽培方法が詳しく分からないために、鉢栽培と露地栽培の両方で試しています。品種により性質が相当違い、ある品種は花が沢山咲き、果実もかなり着いていますが、全く花が咲かない品種や虫が沢山付く品種や、枝がどんどん伸びて大きく成長してくる品種など色々です。ただし四季なり性でハウスの栽培だと年に何回か開花・収穫できそうです。それを楽しみにしています。料理をされる方が上手に活用され話題になっているようです。

何とか料理をされる方にPRしていきたいと思います。珍しい柑橘ですからこれも何とか普及したいと考えています。



次は「マヌカ・ハニーの木」です。  
マヌカ・ハニーという蜂蜜を存知でしょうか。  
蜂蜜を常用している人は良く知っていると思います。

この蜂蜜はニュージーランドやオーストラリアで生産され、強殺菌力、抗菌作用、抗炎症作用を持っている最高級蜂蜜で、多くがイギリスへ輸出されていくそうで、日本ではかなり高い値段で取引されているようですが、その蜂蜜を取る木を生産しています。三重県の気候では全く問題なく成長しています。将来、マヌカ・ハニーの畑をつくりたいと考えています。

尋ねてこられた方がよく質問されます。どんな目的でこの農場をしているのですか。私はこのように答えます。「私は農家で育ち、親から農業を教えられ、赤塚植物園で植物の仕事をし、今日に至った。人生の集大成をしたいと考えておりますと。両親が94歳まで生きたので、私は家族に迷惑をかけずに、95歳まで元気で生きるために、此処でこんなことをしていますと。」！！！！



## 植物の説明

### ジャボチカバ

学名 : *Pilinia cauliflora*

英名 : Jaboticaba, Brasiliann grape

別名 : キブドウ (木葡萄)

分類 : フトモモ科 ブリニア属 常緑中高木、成長は遅い果樹です。

原産 : 南アメリカ大陸 (ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア等)

花言葉 : 「神秘」「永代」などの言葉が付いている。

### フィンガーライム

学名 : *Microcitrus australasica*

英名 : Finger Lime

日本名 : フィンガーライム

分類 : ミカン科 ミクロシトラアス属

原産 : オーストラリア

特徴 : 大人の親指程度の大きさの柑橘が沢山なります。果実の中に

つぶつぶの果肉があり、この果肉の食感がプチプチしてまるでキャビアのような感じがします。品種も多くあり苗も果実も高価です。

### マヌカの木

学名 : *Leptospermum scoparium*

英名 : New Zealand Tea tree , Manuka Tea tree

日本名 : 御柳梅、ニュージーランド・テーツリー

分類 : フトモモ科 ギョリュウバイ属 常緑低木

原産 : ニュージーランド、オーストラリア

特徴 : ミツバチの蜜源になる木。集められた蜜は「マヌカハニー」と呼ばれる。

フジモリ農園 藤森忠雄

IPPS-J 第十二期理事・監事・役員・理事代理 (2022.1.1～2023.12.31).

	役 職	氏 名	担 当	会 社 ・ 所 属
1	会長	速水 正弘	ニュースレター	
2	副会長	文室 政彦	滋賀大会	
3	副会長	前田 隆昭	宮崎大会	南九州大学
4	編集理事	富田 正徳	ホームページ	バイエルクロップサイエンス(株)
5	国際理事 事務・会計理事	水谷 朱美		(株)ベルディ
6	理事	藤森 忠雄		
7	理事	落合 正樹	岐阜大会	岐阜大学
8	理事	鈴木 智子		静岡県経済産業部農業局
9	国際交流推進委員	大森 直樹	IPPS 活性化	NEXT Innovation(株)
10	監事	大橋 広明		愛媛大学
11	本部国際理事	Peter F.Waugh		Carann
12	年史編纂委員	鉄村 琢哉	宮崎大会	宮崎大学
13	理事代理	大西 隆	岐阜大会	(有)セントラルローズ
14	理事代理	内田 恵介		グリーンクラフト
15	理事代理	石村 修司	宮崎大会	宮崎大学

IPPS-Jの大会予定

※大会を開催したい方は早めに事務局へ申し出てください。

2022年10月22日(土)～23日(日) 第27回 岐阜大会 (担当: 落合正樹氏)、岐阜県岐阜市  
 2023年10月14日(土)～15日(日) 第28回 滋賀大会 (担当: 文室正彦氏)、滋賀県近江八幡市  
 2024年11月 2日(土)～3日(日) 第29回 宮崎大会 (担当: 前田隆昭氏)、宮崎県都城市 (予定)  
 または 11月 9日(土)～10日(日)

訃 報

これまで理事代理として、宮崎大会の準備を進めてきていただきました、尾崎勝也氏につきましては、4月24日にくも膜下出血のため、43歳の若さで急逝されましたので、謹んでご報告申し上げますとともに、氏のご冥福をお祈りいたします。

編集後記

ようやくコロナをそれほど気にすることなく岐阜大会を開催できると思っていましたら、思わぬ訃報が飛び込んできて、さすがに落胆を隠せません。尾崎氏は、入会こそ最近ですが、前向きな姿勢と明るさに大きな期待を寄せていたのですが、残念の一言です。しかし悲しんでばかりもいられませんので、前向きに頑張っていきましょう。

ニュースレター担当: 速水正弘